

科目名	地域福祉論	教員名	山本哲也	学科等	看護	選択	履修年次	2
(科目番号)	(時間割参照)			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
				授業形態	講義	オフィスアワー	火2(第一キャンパス・B325)	
授業概要	地域の生活課題に対応する地域福祉の理論と実践について概説する。具体的には、地域福祉の位置づけ、地域福祉に関わる法制度（社会福祉法、介護保険法、障害者総合支援法等）、現代社会の状況と地域福祉、生活支援としての地域福祉、地域共生社会の実現と地域福祉、地域福祉の理念計画、地域生活課題と地域づくり、地域住民との協働、コミュニティワーク、地域診断、地域向け活動・事業の展開、ネットワーク、社会資源開発、総合相談支援体制の構築等について概説する。							
目的・目標	目的:地域福祉実践の諸理論を学び、保健師を含む地域支援専門職の役割を考察できる。 目標:①地域課題やの地域の成り立ちについて理解する。②地域生活支援のための諸制度について理解する。 ③地域住民との協働による実践、④地域共生社会の構築について理解する。							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	地域共生社会の実現と地域福祉① 地域共生社会とは	到達目標:地域福祉が志向する地域共生社会について理解する。 学習内容:地域共生社会の実現に向けた政策等につて学習する。					
	2	地域共生社会の実現と地域福祉② 地域福祉実践の基礎としてのソーシャルワーク	到達目標:地域福祉実践の基礎としてのソーシャルワークについて理解する。 学習内容:ソーシャルワークの基本について学習する。					
	3	「価値」に基づく地域福祉実践① ソーシャルワークの価値	到達目標:ソーシャルワークの基盤としての「価値」について理解する。 学習内容:多様性の尊重、社会正義等のソーシャルワークの価値ついて学習する。					
	4	「価値」に基づく地域福祉実践② 「価値」に基づいたソーシャルワークの実践	到達目標:「価値」に基づいた地域福祉(ソーシャルワーク)実践について理解する。 学習内容:「価値」に基づいた地域福祉実践(ソーシャルワーク)について学習する					
	5	「価値」に基づく地域福祉実践③ 支援者に求められる地域住民との援助関係の形成	到達目標:支援者に求められる地域住民との援助関係の形成について理解する。 学習内容:援助関係の形成に必要な支援者の態度、原則、自己覚知について学習する					
	6	地域福祉実践とネットワーク① 地域社会におけるさまざまなネットワーク	到達目標:地域社会におけるさまざまなネットワークについて理解する。 学習内容:専門職、地域住民、地域を越えたネットワークについて学習する。					
	7	地域福祉実践とネットワーク② ネットワークを活かしたセーフティネットの構築	到達目標:ネットワークを活かしたセーフティネットの構築について理解する。 学習内容:包括的支援体制整備事業について学習する。					
	8	地域を育む地域福祉(1)～防災① 「誰一人取り残さない防災」を目指した地域づくり	到達目標:地域生活課題を地域の課題として受けとめられる地域づくりについて理解する。 学習内容:防災を例えとして、地域生活課題を受けとめられる地域づくりについて学習する。					
	9	地域を育む地域福祉(1)～防災② 防災のためのソーシャルワーク実践	地域生活課題を地域の課題として受けとめられる地域づくりについて理解する。 学習内容:具体的な地域生活課題をあげ、それを受けとめられる地域づくりについて学習する。					
	10	地域を育む地域福祉(2)～地域課題① 地域課題を解決する地域づくり	到達目標:地域生活課題を地域の課題として受けとめられる地域づくりについて理解する。 学習内容:具体的な地域生活課題を受けとめられる地域づくりについて学習する。					
	11	地域を育む地域福祉(2)～地域課題② 地域課題を解決するソーシャルワーク実践	到達目標:地域診断について理解する。 学習内容:地域福祉実践のための地域診断の領域、方法を理解する。					
	12	地域共生社会へと歩む体制の整備① 重層的支援体制整備事業とは	到達目標:重層的支援体制整備事業について理解する。 学習内容:重層的支援体制整備事業について学習する。					
	13	地域共生社会へと歩む体制の整備② 重層的支援体制整備事業を展開する地域福祉実践	到達目標:重層的支援体制の構築について理解する 学習内容:重層的支援体制の構築方法について学習する。					
	14	地域共生社会へと歩む体制の整備③ ソーシャルワークにおけるストレングス視点	到達目標:支援におけるストレングス視点について理解する。 学習内容:当事者、地域、地域住民を対象としたストレングス視点について学習する。					
	15	まとめ	到達目標:授業を振り返り、地域福祉と看護との関わりについて理解する。 学習内容:授業を総括する。					
成績評価の方法・基準	期末試験（100%）により評価する（対面・オンライン共通）。							
教科書	物語で学ぶ地域共生社会をつくるソーシャルワーク	植田寿之				創元社		
参考図書	認知症plus 地域共生社会 つながり支え合うまちづくりのために私たちができること	近藤尚巳,五十嵐歩編				日本看護協会出版会		
教員からのメッセージ	本授業では、メディカルオンラインのイーブックスを参考書として紹介します。必要に応じて授業の内容を変更することがあります。オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。							